

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

比佐 優子

1. 授業の概要(ねらい)

日本の食文化は国際的に高い評価を受けているのに、海外にはあまり配信されない。また素晴らしい商品であっても、衰退していくものも数多く存在する。ゼミではハチミツという商品をテーマにいろいろな角度から問題を取り上げます。ハチミツは近年ブームとなって、はちみつそのものだけではなく、お菓子や健康食品として、また化粧品などにも使われる。また香辛料として用いられてきた山椒は近年、帝京大学医真菌研究センターにおいて口腔ケアのとして有用な研究成果が出させています。

ゼミでは、長年のはちみつを使った食品もしくは化粧品の商品開発を行ってきました。また、医真菌研究センターにおいて研究している山椒を用いて、口腔ケアの商品について商品開発を行うつもりです。商品開発に焦点をあて、市場分析、商品開発、自然環境、企画・運営、アンケート調査、販路開拓といった視点で、蜂蜜とはちみつをテーマに各種の企画を軸に活動します。最終的に学内・学外での販売を計画しています。

ゼミの活動は、はちみつと山椒の知識の習得、食品および化粧品の国際展示会場への見学と参加、商品の生産工程、予算、資金獲得、商品開発、デザイン、広告、販路など学生主体で協力しておこなっています。長期的な商品開発とともに、毎年、企画した商品の完成を目標に取り組みます。さらに、SDGs、自然環境にも視野を広げ、大学のある多摩地区の里山の自然と地産地消などを通じて、身近な街の自然環境の変化を理解することも視野に入れています。ゼミは、司会者と書記、各自の担当を決め学生主体で運営します。山椒・はちみつプロジェクトを通じて、大学内外での活動、自主性、共同作業を通じて、コミュニケーション能力を高めます。こうした活動は、医真菌研究センターの協力、竹内養蜂、ローザ特殊化粧品、株式会社FIO、パン工房うさぎとかめ、多摩センターマルシェなど各種食品会社の協力に支えられ、学生がこれら民間企業との交渉を主導的に進め、自分のアイデアを実現しようと取り組んでいます。

比佐ゼミでは、各自の視点でいろいろなビジネスの可能性を考える自主性、その力と表現力を養うことを期待します。

2. 授業の到達目標

一年間の「はちみつ・山椒プロジェクト」を通じて、各々が選んだテーマについて調べ、活動を行い、成果を具体的に示し、配信する。プロジェクトを通じて、学問的理解、発表原稿作成、企業との交渉、商品開発、市場調査、販路開拓、アンケート調査、統計処理、プレゼン能力について幅広い技術を身に着ける。また自主的に活動し、共同作業を通じて、コミュニケーション能力を高めます。

3. 成績評価の方法および基準

大学内外でのゼミ・発表への貢献度、出席、課題の作成、自主性、協調性を重要視します。
参加者は、対面講義には必ず、不織布マスクを必ず着用のこと。布、ウレタンマスクは入室禁止です。

4. 教科書・参考文献

教科書
ガイダンスにおいて発表
参考文献
ガイダンスにおいて発表

5. 準備学習の内容

ハチミツ、山椒と関連商品について調べておくこと。

6. その他履修上の注意事項

楽しみながら、各自が積極的にはちみつ・山椒プロジェクトに取り組むことを期待します。自主性、責任を持って活動してください、

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | ミツバチについての知識 |
| 【第3回】 | はちみつ・山椒商品の研究 |
| 【第4回】 | ハチミツ・山椒についての知識:養蜂体験 |
| 【第5回】 | ハチミツ・山椒製品の開発 |
| 【第6回】 | ハチミツ・山椒の花と八王子の自然についての知識 |
| 【第7回】 | ハチミツ・山椒製品の開発 |
| 【第8回】 | ハチミツ・山椒製品の予算検討 |
| 【第9回】 | ハチミツ・山椒製品の販路 |
| 【第10回】 | ハチミツ・山椒製品の販路 |
| 【第11回】 | ハチミツ・山椒製品についての発表 |
| 【第12回】 | アンケート調査の説明 |
| 【第13回】 | アンケート調査作成と実施 |
| 【第14回】 | 市場の分析 |
| 【第15回】 | 商品開発とアンケート調査の結果発表 |